

虐待・身体拘束について考える

～クライアントにきちんと向き合えていますか？～

8月9日水曜日午後6時10分より、株式会社 良創夢様のご依頼にて、良創夢様の職員向け研修会にて、「虐待・身体拘束について考える ～クライアントにきちんと向き合えていますか？～」という演題で、当院 認知症医療センター室長 専門相談員の江頭が講演させていただきました。

参加者は37名の方々でした。講演の中では、身体拘束を参加者同士でやってみるという体験を取り入れ、皆さん、同じ職員が身体拘束をされていく様子や拘束をされた様子を見て、参加者同士での意見が深まったり、講演に関しても、真剣なまなざしで、時折うなづきながら話を聞いて頂きました。



講演では、福岡県認知症医療センターの役割、症例提示をさせていただき、虐待って？、高齢者の虐待の現状、事件、精神科病院における身体拘束にまつわる死亡事件など日本における虐待、身体拘束の現状について理解を深めて頂きました。後半では、グループワークを実施し、①身体拘束について、身体拘束をされた人、した人、その場面を見ている人、それぞれの立場から意見を出し合い、又、次に自分の職場で虐待が起きるリスクはないかなど②クライアントにしっかりと向き合っていますか？ということについて、グループで議論していただき、最後に全体で、各グループの話し合いを共有させていただきました。

私たちはいつ虐待をしてしまうか、日々、自分たちと関わらせていただいているクライアントとの信頼関係、距離感を検証し、意識化していくことが必要であることを参加者全員で共有させていただきました。

今回、このような場、時間を与えて頂いた、良創夢ケアプランセンター石橋倫子様を始め、良創夢の職員の皆様に感謝申し上げます。

最後になりますが、前年度より、専門相談員・江頭が地域の皆様方やケアマネジャーを初めとした支援者の皆様方に向けて、認知症に関する普及啓発の観点から講演を実施していく新たな取り組みを開始しています。もし、よろしければ、皆様方の地域に出向かせていただき、一緒に認知症のことを考えませんか？何かお役に立てることがありましたら、認知症センターの直通ないしは飯塚記念病院の代表番号まで、電話連絡していただければ幸いです。

どうかよろしく願いいたします。



身体拘束を体験された職員の方々の様子です。
この様子を見て、みなさん、いかが思われますか？